

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 2 5

開催地：八代市坂本町

平成 19 年 9 月 5 日（水）、八代市坂本町坂本地区（会場：坂本公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 30 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	27 名
市外	3 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本高水流量について、民間団体が出した数字と違うがどちらを信じたらいいのか。
- ・正常な流量とはどのくらいのものと考えているのか。
- ・治水上、川幅を広げることも掘削もできないという説明であったが、今後、どういう形で対策をすることを考えているのか。
- ・河川法の改正により、基本方針を定めたとのことだが、川辺川ダムとはどういう関係にあるのか。
- ・ダム建設を前提として高水流量を計算しているのではないか。
- ・河川整備計画を具体的に策定し、実施するのはいつ頃か。

【球磨川の治水対策について】

- ・対岸の合志野地区の工事で洪水時の流れが変わり護岸が壊れたため、去年は県道が一年間通れなかった。大門、藤本地区の住民は、荒瀬ダムの上を通過して病院や八代方面に向かった。
- ・合志野地区の工事について、大門、藤本、松崎地区には何にも説明が無かった。近頃になって工事をしましたと話をしている。
- ・合志野地区のために築堤をする必要性は理解できるが、2 年前の台風で対岸が壊れている状態で、なぜ川幅を狭くしてまで工事をするのか。対岸が壊れて何らかの支障が出たら、工事をストップして対岸の検討をしてから工事をしていくべきではないか。
- ・工事の後に工事した箇所の下流の川がどのように変わったか国土交通省は調べているのか。坂本橋の下流（100m ぐらい）で、1.5m ぐらい河床が下がっている。昔あった工場の水の取り入れ口のパイプが宙に浮いている。2～3 年前の工事で水の流れが変わり河川がえぐれている。
- ・合志野の国道 219 号よりも対岸の県道の方が低い。低い所をそのままにして、合志野の堤防をあげると洪水のたびに県道が通行止めになる。どういう風に考えているのか。
- ・合志野で堤防ができると、現在の国道 219 号からどれだけ高くなるのか。以前の地元説明では、1.7～1.8m 上がると聞いている。確認したい。
- ・県道中津道線は、護岸が壊れていつ決壊するか分からない。水があたるところの橋の下はえぐれている。築堤をするときは、川幅を広くした方がよい。
- ・子供の時は、荒瀬ダムのところは、中洲ができていて、いつでも水が流れていた。こういうところにまた護岸が川側へ前に出てくるとなると一生うだつが上がらない。
- ・合志野地区や坂本地区だけでなく、小崎辻地区も同じような状況である。うちも床上浸水をした。道も浸かる。そういう状況を何十年も続けてきた。もう少し考えて頂きたい。
- ・計画高水が 3,600m³/s ということだが、2,800m³/s で道がつかまり、3,000～3,600m³/s で床下まで水がくる。どういう計算をすれば、3,600m³/s 流れるのか。
- ・合志野地区だけでなく上で越流して、材木も流れる。上流だけでなく下流にも配慮して欲しい。
- ・川をいかに制するのか。掘削するのか、引提にするのか。合志野地区の対岸に住んでいるが、両岸整備して初め

て球磨川の整備が出来る。地球温暖化も言われている中、整備計画では、1/100 とか 1/200 などの間延びした計画ではなく、現実にも即した方がいいのではないかと。

- ・大門地区では、昭和 30 年以來の洪水により、床上・床下浸水の被害を受けた家は 7 件あるが、そのうち急激な増水で家屋や財産が流失した家もある。あまりにつらい被害や不安で故郷を離れ、八代へ移転したり、大幅な嵩上げを実施しているところもある。
- ・坂本地区では、宅防の工事が行われ、大幅な家屋の嵩上げや道路の拡幅工事が行われてきているが、工事内容によっては、川幅が狭くなり、大門地区では、対岸の工事の影響で水位が更に上昇し、家屋浸水の被害が生じないか不安な状況である。昨年 7 月には、家屋浸水等が予測されたため、初めて避難勧告まで発令され、避難せざるをえない状況となった。宅防、水防対策の促進に特段の配慮をお願いしたい。
- ・地域住民の生活と安全、家屋財産の保護と過疎化防止の対策をお願いしたい。
- ・荒瀬ダムがあと 2～3 年で無くなると聞いている。そうすると、また道路が壊れるのではないかと疑いを持っている。発電所の対岸側の半分にひびが入っている状況である。
- ・H22 の荒瀬ダムの撤去工事開始に伴い、ダム下流に設置してある水制工は不要物となり水流の妨げとなるため撤去して欲しい。

【球磨川の環境について】

- ・環境の保全、水質の問題、動植物関係の問題などがうたわれているが、今後どのように改善していこうと思っているのか。
- ・鮎の産卵場を策定するとあるが、どういう風にするのか。球磨川漁協とどう話をしていくのか。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

